

島根県政県民意識調査の結果

1 調査目的

県民に、現行の島根創生計画の取組に対する評価や、社会移動、結婚・出産・子育てに対する意識などを伺い、第2期島根創生計画の策定及び政策・施策の立案等に反映

2 調査概要

- (1) 調査対象：島根県内の市町村に居住する満18歳以上の方
- (2) 配布数：4,500人
- (3) 抽出方法：選挙人名簿から抽出
- (4) 調査方法：郵送配布、郵送回収またはインターネットによる回答
- (5) 調査期間：令和6年5月31日～6月14日

3 回収結果

有効回答数（率）：1,857（41.3%）

4 主な調査結果

(1) 島根創生に関すること

① 島根創生計画の認知度（問1：P16）

- 「県の最上位の計画であり、人口減少対策などを盛り込んだものであることを知っている」、「名前を聞いたことがある」と回答した人は合わせて58.8%

県の最上位の計画であり、人口減少対策などを盛り込んだものであることを知っている		11.4%
名前を聞いたことがある		47.4%
聞いたことがない		41.2%

② 島根創生計画に掲げる21政策の重要度、満足度、ニーズ度（問2-1：P16～20）

重要度の上位5つ	満足度の上位5つ
①保健・医療・介護の充実	①安全な日常生活の確保
②結婚・出産・子育てへの支援	②自然、文化・歴史の保全と活用
③人材の確保・育成	③スポーツ・文化芸術の振興
④生活基盤の確保	④防災対策の推進
⑤防災対策の推進	⑤人権の尊重と相互理解の促進

ニーズ度の上位5つ （重要度と満足度の差）	各圏域でのニーズ度が最も高い政策
①人材の確保・育成	松江圏域：人材の確保・育成
②結婚・出産・子育てへの支援	雲南圏域：中山間地域・離島の暮らしの確保
③保健・医療・介護の充実	出雲圏域：人材の確保・育成
④生活基盤の確保	大田圏域：人材の確保・育成
⑤地域の経済的自立の促進	浜田圏域：保健・医療・介護の充実 益田圏域：保健・医療・介護の充実 隠岐圏域：人材の確保・育成

③ 『誰もが、誰かの、たからもの。』の認知度（問9-1：P25）

- 「知っている」、「県のホームページや広報媒体などで見たことはある」と回答した人は合わせて22.3%

知っている		7.3%
県のホームページや広報媒体などで見たことはある		15.0%
知らない		77.7%

(2) 社会移動に関すること

① 居留意向（問 13-1～13-3 : P29～32）

- 現在住んでいる地域にずっと住み続けたいと回答した人が 70.1%と最も多く、次いで「わからない」13.3%、「島根県外へ移り住みたい」6.2%の順に多い。

住み続けたい	70.1%
島根県内の別の場所へ移り住みたい	4.9%
島根県外へ移り住みたい	6.2%
島根県内・県外どちらでもかまわないので移り住みたい	5.5%
わからない	13.3%

- 年齢層別では、住み続けたいとする人の割合は年齢層が高くなるほど高くなり、70歳以上が86.7%と最も高い。一方、18～29歳は49.9%と最も低く、県外へ移り住みたいとする人の割合は15.6%と最も高い。

区分	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
住み続けたい	49.9%	56.3%	65.3%	59.6%	74.3%	86.7%
島根県内の別の場所へ移り住みたい	9.1%	6.6%	5.4%	4.8%	5.4%	2.5%
島根県外へ移り住みたい	15.6%	8.1%	6.2%	8.8%	4.8%	2.0%
島根県内・県外どちらでもかまわないので移り住みたい	9.5%	10.6%	7.6%	5.1%	2.9%	2.8%
わからない	16.0%	18.5%	15.5%	21.7%	12.6%	6.1%

- 住み続けたいと思う理由は、「家族や親族が近くにいるから」70.7%が最も多く、次いで「住み慣れていて愛着があるから」54.5%、「車があれば、荷物の多さや時刻表などを気にすることなく、自由に移動できるから」34.7%の順に多い。

家族や親族が近くにいるから		70.7%
住み慣れていて愛着があるから		54.5%
車があれば、荷物の多さや時刻表などを気にすることなく、自由に移動できるから		34.7%
友人や知人が同じ地域に住んでいるから		33.6%
治安が良く、安心して暮らせるから		29.1%
地域の人とのつながりに、温かさを感じるから		24.9%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っているから		19.3%
人混みや満員電車で疲れることなく生活できるから		18.9%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれているから		15.5%
余暇を利用して、自分のやりたいことを満喫できるから		12.6%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っているから		3.8%
魅力的な求人がある、または現在の仕事内容や賃金に満足しているから		3.7%
子どもの教育環境が整っているから		1.9%
事業や商売を行うのに適しているから		1.1%
その他		3.7%

※ 複数回答(4つまで)

年齢層別（18～29歳）

- 18～29歳では、「家族や親族が近くにいるから」78.4%が最も多く、次いで「住み慣れていて愛着があるから」48.3%、「友人や知人が同じ地域に住んでいるから」43.3%の順に多い。

家族や親族が近くにいるから		78.4%
住み慣れていて愛着があるから		48.3%
車があれば、荷物の多さや時刻表などを気にすることなく、自由に移動できるから		35.5%
友人や知人が同じ地域に住んでいるから		43.3%
治安が良く、安心して暮らせるから		23.0%
地域の人とのつながりに、温かさを感じるから		20.1%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っているから		10.8%
人混みや満員電車で疲れることなく生活できるから		22.7%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれているから		6.7%
余暇を利用して、自分のやりたいことを満喫できるから		8.2%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っているから		5.1%
魅力的な求人がある、または現在の仕事内容や賃金に満足しているから		9.0%
子どもの教育環境が整っているから		0.7%
事業や商売を行うのに適しているから		0.6%
その他		0.0%

※ 複数回答(4つまで)

- 移り住みたいと思う理由は、「公共交通機関が不便で、車がないと自由に移動できないから」47.8%が最も多く、次いで「日常生活を営むための機能が整っていないから」26.4%、「自分の希望や好みにあった住宅に住みたいから」25.6%の順に多い。

公共交通機関が不便で、車がないと自由に移動できないから	47.8%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っていないから	26.4%
自分の希望や好みにあった住宅に住みたいから	25.6%
魅力的な求人がない、または現在の仕事内容や賃金に満足していないから	24.2%
地域の人とのつながりを、わずらわしいと感じるから	22.4%
都会で暮らしたいから	18.4%
出身地など、馴染みのある土地で暮らしたいから	15.3%
友人や知人が住んでいる地域で暮らしたいから	12.3%
島根県、または居住している地域に愛着を感じていないから	10.7%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っていないから	5.7%
家族や親族とのつきあいがうまくいっていないから	5.7%
家族や親族の介護・看護をするから	4.2%
子どもの教育環境が整っていないから	4.0%
事業や商売を行うのに適していないから	3.4%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれていないから	3.2%
治安が悪く、安心して暮らせないから	0.1%
その他	15.9%

※ 複数回答（4つまで）

年齢層別（18～29歳）

- 18～29歳では、「自分の希望や好みにあった住宅に住みたいから」40.7%が最も多く、次いで「公共交通機関が不便で、車がないと自由に移動できないから」37.4%、「都会で暮らしたいから」33.1%の順に多い。

公共交通機関が不便で、車がないと自由に移動できないから	37.4%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っていないから	20.7%
自分の希望や好みにあった住宅に住みたいから	40.7%
魅力的な求人がない、または現在の仕事内容や賃金に満足していないから	31.9%
地域の人とのつながりを、わずらわしいと感じるから	8.5%
都会で暮らしたいから	33.1%
出身地など、馴染みのある土地で暮らしたいから	13.4%
友人や知人が住んでいる地域で暮らしたいから	16.5%
島根県、または居住している地域に愛着を感じていないから	5.8%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っていないから	0.0%
家族や親族とのつきあいがうまくいっていないから	3.6%
家族や親族の介護・看護をするから	5.4%
子どもの教育環境が整っていないから	1.3%
事業や商売を行うのに適していないから	2.4%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれていないから	0.0%
治安が悪く、安心して暮らせないから	0.0%
その他	12.9%

※ 複数回答（4つまで）

② 若者のUターン・Iターンを増やすために必要な取組（問14：P33, 34）

- 「県内企業の規模拡大や生産性向上などへの支援による雇用の拡大や賃上げの実現」39.8%が最も多く、次いで「子育て環境の整備」36.3%、「医療・介護や福祉の充実」33.0%の順に多い。

県内企業の規模拡大や生産性向上などへの支援による雇用の拡大や賃上げの実現	39.8%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）の整備	36.3%
医療・介護や福祉の充実	33.0%
県外企業の支社・支店や工場の誘致による雇用の拡大	32.5%
県外大学に進学した学生への継続的な情報提供や就職支援	26.5%
若者が集まるような娯楽施設の充実	25.2%
「島根らしさ」や「島根の良さ」、都会と比べた島根で暮らすメリットの情報発信	24.6%
島根や地域（ふるさと）に愛着を持ち、島根の未来を考える子どもを増やす	22.0%
快適な住環境の整備	22.0%
鉄道やバスなどの地域交通の確保	21.4%
移住に関する相談会や相談窓口、支援制度の充実	20.4%
女性活躍の推進や誰もが働きやすい職場環境の整備	16.3%
起業などの新たなチャレンジへの支援	14.7%
道路や上下水道などのインフラ整備	12.6%
航空路線の充実	7.5%
あらゆる分野でのデジタル化の推進	4.8%
その他	3.0%

※ 複数回答（4つまで）

年齢層別（18～29歳）

- 18～29歳では、「県内企業の規模拡大や生産性向上などへの支援による雇用の拡大や賃上げの実現」42.2%が最も多く、次いで「若者が集まるような娯楽施設の充実」41.6%、「子育て環境の整備」31.0%の順に多い。

県内企業の規模拡大や生産性向上などへの支援による雇用の拡大や賃上げの実現	42.2%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）の整備	31.0%
医療・介護や福祉の充実	27.7%
県外企業の支社・支店や工場の誘致による雇用の拡大	28.2%
県外大学に進学した学生への継続的な情報提供や就職支援	25.2%
若者が集まるような娯楽施設の充実	41.6%
「島根らしさ」や「島根の良さ」、都会と比べた島根で暮らすメリットの情報発信	20.1%
島根や地域（ふるさと）に愛着を持ち、島根の未来を考える子どもを増やす	14.8%
快適な住環境の整備	23.7%
鉄道やバスなどの地域交通の確保	23.1%
移住に関する相談会や相談窓口、支援制度の充実	16.4%
女性活躍の推進や誰もが働きやすい職場環境の整備	9.6%
起業などの新たなチャレンジへの支援	13.2%
道路や上下水道などのインフラ整備	14.6%
航空路線の充実	11.7%
あらゆる分野でのデジタル化の推進	8.4%
その他	1.7%

※ 複数回答（4つまで）

(3) 結婚・出産・子育てに関すること

① 結婚に対する意識 (問 15~17 : P34, 35)

- 結婚について、「必ずした方が良い」、「できればした方が良い」と回答した人は合わせて 71.1%

必ずした方が良い	15.0%
できればした方が良い	56.1%
無理にしなくても良い	27.4%
しなくて良い	1.5%

- 年齢層別では、結婚にすることに肯定的な意識を持つ人の割合は年齢層が高くなるほど高くなり、70歳以上が 88.0%と最も高い。一方、18~29歳は 54.6%、30~39歳は 43.1%と最も低い。

区分	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
必ずした方が良い	8.2%	8.5%	6.8%	15.6%	15.8%	23.0%
できればした方が良い	46.4%	34.6%	50.6%	55.2%	66.8%	65.0%
無理にしなくても良い	44.0%	53.3%	40.4%	28.0%	16.3%	11.2%
しなくて良い	1.4%	3.6%	2.1%	1.2%	1.0%	0.8%

- 結婚することについて、「良い点があると思う」と回答した人は 95.6%

良い点があると思う	95.6%
良い点はないと思う	4.4%

- 結婚することの良い点は、「自分の子どもや家庭を持てる」70.2%が最も多く、次いで「精神的な安らぎが得られる」53.7%、「愛情を感じている人と暮らせる」46.7%の順に多い。

自分の子どもや家庭を持てる	70.2%
精神的な安らぎが得られる	53.7%
愛情を感じている人と暮らせる	46.7%
親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	24.2%
経済的に余裕が持てる	22.6%
社会的信用が得られる	21.8%
親から独立できる	4.4%
生活上便利になる	4.2%
その他	2.3%

※ 複数回答(3つまで)

- 独身でいることの結婚にはない良い点について、「良い点があると思う」と回答した人は81.6%

良い点があると思う		81.6%
良い点はないと思う		18.4%

- 独身でいることの結婚にはない良い点は、「行動や生き方が自由」83.2%が最も多く、次いで「仕事や趣味など自分の好きなことに打ち込みやすい」63.9%、「自由に使えるお金が多い」45.6%の順に多い。

行動や生き方が自由		83.2%
仕事や趣味など自分の好きなことに打ち込みやすい		63.9%
自由に使えるお金が多い		45.6%
家族を養う責任がなく、気楽		23.5%
住宅や環境の選択の幅が広い		14.7%
友人などとの広い人間関係が保ちやすい		12.2%
異性との交際が自由		7.2%
現在の家族とのつながりが保てる		6.5%
その他		1.1%

※ 複数回答(3つまで)

② 結婚をためらわせること (問 18 : P36, 37)

- 独身の人のうち、結婚したいと思う相手がいる(あるいは今後出会った)場合、結婚を「ためらわせることがあると思う」と回答した人は72.3%

ためらわせることがあると思う		72.3%
ためらわせることはないと思う		27.7%

- 結婚をためらわせる理由は、「結婚後の生活資金のこと」56.6%が最も多く、次いで「子どもの養育費のこと」28.5%、「結婚資金のこと」27.9%の順に多い。

結婚後の生活資金のこと		56.6%
子どもの養育費のこと		28.5%
結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)のこと		27.9%
職業や仕事のこと		23.9%
親との同居や扶養のこと		22.9%
年齢のこと		22.6%
結婚生活のための住居のこと		22.6%
健康のこと		19.6%
親の承諾のこと		6.2%
学校や学業のこと		4.5%
その他		5.9%

※ 複数回答(3つまで)

年齢層別（18～29 歳）

- 18～29 歳では、「結婚後の生活資金のこと」67.0%が最も多く、次いで「子どもの養育費のこと」45.8%、「結婚資金のこと」37.9%の順に多い。

結婚後の生活資金のこと		67.0%
子どもの養育費のこと		45.8%
結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）のこと		37.9%
職業や仕事のこと		29.3%
親との同居や扶養のこと		15.9%
年齢のこと		4.2%
結婚生活のための住居のこと		32.0%
健康のこと		8.5%
親の承諾のこと		6.3%
学校や学業のこと		3.8%
その他		7.0%

※ 複数回答（3つまで）

③ 理想的な子どもの数（問 19, 20 : P37, 38）

- 「3人」47.7%と回答した人が最も多く、次いで「2人」39.7%、「子どもはいらない」5.3%の順に多い。

子どもはいらない		5.3%
1人		3.4%
2人		39.7%
3人		47.7%
4人		3.0%
5人以上		0.9%

- 理想的な子どもの数より実際の子どもの数が少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」39.8%が最も多く、次いで「仕事との両立が難しくなるから」28.3%、「パートナーがいないから」21.7%の順に多い。

子育てや教育にお金がかかりすぎる(かかりすぎた)から	39.8%
仕事との両立が難しくなる(難しかった)から	28.3%
パートナーがいないから	21.7%
ほしいけれどもできない(できなかった)から	21.0%
育児の心理的、肉体的負担に耐えられない(なかった)から	11.5%
健康上の理由から	10.9%
高年齢での出産、子育てをしたくない(したくなかった)から	8.7%
保育施設や医療制度などの子育て環境が整っていない(整ってなかった)から	8.5%
パートナーの家事や育児への協力が得られない(得られなかった)から	6.1%
自分自身やパートナーとの生活を大切にしたい(大切にされた)から	5.8%
パートナーが望まない(望まなかった)から	5.7%
家がせまい(せまかった)から	5.2%
末子が自分やパートナーの定年退職までに成人してほしい(ほしかった)から	2.6%
その他	5.4%

※ 複数回答(いくつでも)

年齢層別 (18～29 歳)

- 18～29 歳では、「パートナーがいないから」66.7%が最も多く、次いで「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」31.4%、「仕事との両立が難しくなるから」29.7%の順に多い。

子育てや教育にお金がかかりすぎる(かかりすぎた)から	31.4%
仕事との両立が難しくなる(難しかった)から	29.7%
パートナーがいないから	66.7%
ほしいけれどもできない(できなかった)から	10.0%
育児の心理的、肉体的負担に耐えられない(なかった)から	10.8%
健康上の理由から	0.3%
高年齢での出産、子育てをしたくない(したくなかった)から	0.7%
保育施設や医療制度などの子育て環境が整っていない(整ってなかった)から	9.1%
パートナーの家事や育児への協力が得られない(得られなかった)から	1.6%
自分自身やパートナーとの生活を大切にしたい(大切にされた)から	11.9%
パートナーが望まない(望まなかった)から	0.3%
家がせまい(せまかった)から	7.6%
末子が自分やパートナーの定年退職までに成人してほしい(ほしかった)から	0.5%
その他	3.8%

※ 複数回答(いくつでも)

④ 子育てしやすい県（問 22 : P39）

- 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人は合わせて 79.4%

そう思う		16.9%
どちらかといえばそう思う		62.5%
どちらかといえばそう思わない		15.1%
そう思わない		5.6%

(4) 幸福度に関すること

① 幸福度（問 23-1, 23-2 : P40）

- 「幸福だと感じている」、「やや幸福だと感じている」と回答した人は合わせて 70.6%

幸福だと感じている		28.6%
やや幸福だと感じている		42.0%
どちらともいえない		20.8%
あまり幸福だと感じていない		5.6%
幸福だと感じていない		3.0%

- 回答の際に重視したものは、「家族関係」63.0%が最も多く、次いで「健康状況」55.1%、「居住環境」47.3%の順に多い。

家族関係		63.0%
健康状況		55.1%
居住環境		47.3%
精神的なゆとり		36.3%
家計の状況・所得		36.2%
自由な時間・充実した余暇		34.1%
友人関係		30.4%
自然環境		23.3%
就業状況（仕事の有無、安定）		20.3%
職場（学校）の人間関係		19.2%
仕事（学校）のやりがい・充実度		18.5%
地域コミュニティとの関係		14.7%
治安・防災体制		12.7%
教育環境		3.7%
その他		1.7%

※ 複数回答(いくつでも)

この頁は、空白です。

島根県政県民意識調査

令和6年8月時点
島根県

1 調査概要

1-1 調査目的

県民に、現行の島根創生計画の取組に対する評価や、社会移動、結婚・出産・子育てに対する意識などを伺い、第2期島根創生計画の策定及び政策・施策の立案等に反映

1-2 調査項目

- (1) 島根創生に関すること
- (2) 社会移動に関すること
- (3) 結婚・出産・子育てに関すること
- (4) 幸福度に関すること
- (5) 回答者の属性

1-3 調査計画

- (1) 調査対象：島根県内の市町村に居住する満18歳以上の方
- (2) 配布数：4,500人
- (3) 配布の考え方：人口の少ない圏域や年齢層においても一定規模の回答数を確保できるよう、各圏域・年齢層にほぼ均等に配布
- (4) 抽出方法：選挙人名簿から抽出
- (5) 調査方法：郵送配布、郵送回収またはインターネットによる回答
- (6) 調査期間：令和6年5月31日～6月14日
- (7) 調査機関：株式会社アテナ

1-4 回収結果

- (1) 回収数：1,888
- (2) 回収率：42.0%
- (3) 有効回答数：1,857（18～29歳：160、30～39歳：252、40～49歳：299、50～59歳：321、60～69歳：423、70歳以上：402）
- (4) 有効回答率：41.3%

1-5 集計方法

人口比を反映した集計となるよう、回答結果に対し拡大倍率によって補正処理をし、集計を行った。

なお、有効回答数と母集団人口から次式により拡大倍率を算定した。

$$K_{ij} = \frac{N_{ij}}{n_{ij}}$$

K_{ij} : i 圏域、 j 年齢層の拡大倍率

N_{ij} : i 圏域、 j 年齢層の母集団人口（令和5年10月1日現在の18歳以上推計人口）

n_{ij} : i 圏域、 j 年齢層の有効回答数

1-6 調査結果の見方

- (1) 調査結果の数値は百分比（％）で示してある。これらの数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100%を超えることがある。

2 調査結果

(1) 島根創生に関すること

問1 あなたは、『島根創生計画』について、どのくらいご存じですか。(○は1つ)

県の最上位の計画であり、人口減少対策などを盛り込んだものであることを知っている		11.4%
名前を聞いたことがある		47.4%
聞いたことがない		41.2%

問2-1 あなたは、『島根創生計画』に掲げる次の「21項目の政策」について、現在、どのくらい満足していますか。また、今後、その政策がどの程度重要だと思えますか。
①から④までの各政策の満足度と重要度をそれぞれ一つずつ選び、その番号に○をつけてください。

集計方法

・重要度・満足度

アンケート結果を以下のように数値化し、その平均点を評価点とする

「かなり重要である」、「かなり満足している」・・・100点

「やや重要である」、「やや満足している」・・・75点

「どちらともいえない」・・・50点

「あまり重要ではない」、「あまり満足していない」・・・25点

「全く重要ではない」、「全く満足していない」・・・0点

・ニーズ度

重要度と満足度の乖離値を以下のように数値化し、評価点とする

$$(\text{ニーズ度}) = (\text{重要度}) - (\text{満足度})$$

県全体

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	77.7	43.7	34.1
力強い地域産業づくり	79.8	41.7	38.1
人材の確保・育成	84.9	37.0	47.9
結婚・出産・子育てへの支援	84.9	42.5	42.4
中山間地域・離島の暮らしの確保	71.8	39.9	31.9
地域の強みを活かした圏域の発展	72.5	41.1	31.4
地域の経済的自立の促進	76.7	37.6	39.1
地域振興を支えるインフラの整備	79.2	40.2	39.0
島根を愛する人づくり	72.8	46.6	26.2
新しい人の流れづくり	76.0	41.3	34.7
女性活躍の推進	73.7	41.6	32.1
保健・医療・介護の充実	86.5	46.1	40.4
地域共生社会の実現	72.8	45.2	27.6
教育の充実	80.8	45.5	35.3
スポーツ・文化芸術の振興	65.2	48.7	16.5
人権の尊重と相互理解の促進	70.7	48.6	22.1
自然、文化・歴史の保全と活用	69.7	53.2	16.5
生活基盤の確保	82.9	43.0	39.9
生活環境の保全	77.4	45.8	31.6
防災対策の推進	82.5	48.6	33.9
安全な日常生活の確保	81.5	53.4	28.0

松江圏域

(松江市・安来市)

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	78.0	44.4	33.6
力強い地域産業づくり	80.2	41.1	39.1
人材の確保・育成	86.8	36.9	49.9
結婚・出産・子育てへの支援	86.3	41.7	44.7
中山間地域・離島の暮らしの確保	71.0	39.6	31.4
地域の強みを活かした圏域の発展	73.6	41.6	32.0
地域の経済的自立の促進	78.3	37.5	40.8
地域振興を支えるインフラの整備	82.5	36.2	46.3
島根を愛する人づくり	73.1	44.8	28.3
新しい人の流れづくり	79.1	39.3	39.7
女性活躍の推進	75.5	39.5	36.0
保健・医療・介護の充実	86.6	47.4	39.1
地域共生社会の実現	73.3	44.8	28.5
教育の充実	81.8	44.6	37.2
スポーツ・文化芸術の振興	65.9	48.6	17.3
人権の尊重と相互理解の促進	71.6	48.5	23.1
自然、文化・歴史の保全と活用	72.4	54.8	17.6
生活基盤の確保	84.5	42.1	42.4
生活環境の保全	78.3	46.2	32.1
防災対策の推進	82.9	48.3	34.6
安全な日常生活の確保	83.0	54.2	28.8

雲南圏域
(雲南市・奥出雲町・
飯南町)

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	75.5	42.1	33.4
力強い地域産業づくり	78.2	43.1	35.2
人材の確保・育成	80.8	39.0	41.8
結婚・出産・子育てへの支援	84.0	46.7	37.3
中山間地域・離島の暮らしの確保	79.8	36.8	43.0
地域の強みを活かした圏域の発展	71.7	42.5	29.2
地域の経済的自立の促進	76.3	35.5	40.8
地域振興を支えるインフラの整備	75.4	45.2	30.2
島根を愛する人づくり	72.5	47.3	25.1
新しい人の流れづくり	71.2	43.8	27.5
女性活躍の推進	72.2	45.0	27.2
保健・医療・介護の充実	88.4	51.2	37.2
地域共生社会の実現	74.1	45.2	28.9
教育の充実	79.5	48.8	30.7
スポーツ・文化芸術の振興	62.7	49.4	13.3
人権の尊重と相互理解の促進	69.5	46.9	22.6
自然、文化・歴史の保全と活用	65.8	51.4	14.4
生活基盤の確保	83.6	44.0	39.6
生活環境の保全	78.8	46.2	32.5
防災対策の推進	83.4	50.4	33.0
安全な日常生活の確保	82.7	53.5	29.2

出雲圏域
(出雲市)

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	78.1	44.5	33.7
力強い地域産業づくり	80.6	44.6	35.9
人材の確保・育成	85.4	38.0	47.5
結婚・出産・子育てへの支援	86.2	40.0	46.2
中山間地域・離島の暮らしの確保	69.1	40.9	28.2
地域の強みを活かした圏域の発展	72.2	42.0	30.2
地域の経済的自立の促進	76.8	39.0	37.8
地域振興を支えるインフラの整備	78.0	43.0	35.0
島根を愛する人づくり	73.8	48.3	25.5
新しい人の流れづくり	75.3	42.3	33.0
女性活躍の推進	74.8	41.8	33.0
保健・医療・介護の充実	85.2	48.8	36.4
地域共生社会の実現	72.0	46.3	25.7
教育の充実	82.1	44.8	37.3
スポーツ・文化芸術の振興	65.6	49.9	15.7
人権の尊重と相互理解の促進	72.0	49.2	22.8
自然、文化・歴史の保全と活用	69.9	53.7	16.1
生活基盤の確保	82.1	45.1	37.0
生活環境の保全	77.4	46.5	30.9
防災対策の推進	83.5	48.2	35.2
安全な日常生活の確保	81.4	53.9	27.5

大田圏域

(大田市・川本町・
美郷町・邑南町)

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	77.3	40.6	36.6
力強い地域産業づくり	79.7	38.6	41.1
人材の確保・育成	85.3	34.5	50.8
結婚・出産・子育てへの支援	83.4	43.6	39.8
中山間地域・離島の暮らしの確保	74.0	37.2	36.8
地域の強みを活かした圏域の発展	71.8	38.7	33.2
地域の経済的自立の促進	74.9	35.4	39.6
地域振興を支えるインフラの整備	77.3	41.4	35.9
島根を愛する人づくり	71.3	45.3	26.0
新しい人の流れづくり	76.2	39.7	36.6
女性活躍の推進	71.4	41.4	29.9
保健・医療・介護の充実	85.8	45.0	40.8
地域共生社会の実現	72.6	45.3	27.2
教育の充実	78.4	46.2	32.2
スポーツ・文化芸術の振興	64.1	45.8	18.3
人権の尊重と相互理解の促進	67.9	49.1	18.8
自然、文化・歴史の保全と活用	67.2	50.0	17.2
生活基盤の確保	81.7	40.6	41.1
生活環境の保全	76.2	43.4	32.8
防災対策の推進	81.0	46.4	34.6
安全な日常生活の確保	78.5	50.8	27.7

浜田圏域

(浜田市・江津市)

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	76.1	42.2	33.9
力強い地域産業づくり	77.7	39.5	38.3
人材の確保・育成	81.3	36.3	45.0
結婚・出産・子育てへの支援	81.9	43.8	38.1
中山間地域・離島の暮らしの確保	68.2	41.4	26.8
地域の強みを活かした圏域の発展	70.7	39.0	31.7
地域の経済的自立の促進	73.5	37.7	35.8
地域振興を支えるインフラの整備	76.1	42.2	33.9
島根を愛する人づくり	71.1	46.2	24.9
新しい人の流れづくり	73.6	41.8	31.7
女性活躍の推進	71.5	42.5	29.1
保健・医療・介護の充実	86.2	38.5	47.7
地域共生社会の実現	71.6	44.4	27.2
教育の充実	78.2	46.6	31.6
スポーツ・文化芸術の振興	64.0	47.3	16.8
人権の尊重と相互理解の促進	68.8	48.4	20.5
自然、文化・歴史の保全と活用	66.4	51.8	14.6
生活基盤の確保	81.0	42.3	38.7
生活環境の保全	75.2	44.8	30.4
防災対策の推進	81.7	49.0	32.7
安全な日常生活の確保	79.7	53.2	26.4

益田圏域

(益田市・津和野町・
吉賀町)

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	79.8	45.2	34.6
力強い地域産業づくり	80.7	40.4	40.3
人材の確保・育成	83.7	35.7	48.0
結婚・出産・子育てへの支援	82.8	45.3	37.4
中山間地域・離島の暮らしの確保	74.8	40.8	34.0
地域の強みを活かした圏域の発展	73.2	39.8	33.3
地域の経済的自立の促進	75.7	37.9	37.8
地域振興を支えるインフラの整備	79.1	39.8	39.3
島根を愛する人づくり	72.6	48.9	23.6
新しい人の流れづくり	73.3	43.4	29.9
女性活躍の推進	70.8	45.4	25.4
保健・医療・介護の充実	89.3	40.3	49.1
地域共生社会の実現	73.0	43.3	29.7
教育の充実	80.2	45.8	34.5
スポーツ・文化芸術の振興	67.5	49.3	18.2
人権の尊重と相互理解の促進	69.3	49.3	20.0
自然、文化・歴史の保全と活用	67.4	51.3	16.1
生活基盤の確保	81.7	41.8	39.9
生活環境の保全	77.3	45.3	32.0
防災対策の推進	80.1	50.7	29.4
安全な日常生活の確保	79.8	51.4	28.4

隠岐圏域

(海士町・西ノ島町・
知夫村・隠岐の島町)

区分	重要度	満足度	ニーズ度
魅力ある農林水産業づくり	79.1	40.5	38.6
力強い地域産業づくり	79.5	42.1	37.4
人材の確保・育成	82.9	38.0	44.9
結婚・出産・子育てへの支援	81.7	48.3	33.4
中山間地域・離島の暮らしの確保	83.8	41.0	42.8
地域の強みを活かした圏域の発展	71.8	42.1	29.8
地域の経済的自立の促進	75.9	37.8	38.1
地域振興を支えるインフラの整備	76.3	42.4	34.0
島根を愛する人づくり	71.4	49.7	21.7
新しい人の流れづくり	73.5	48.1	25.4
女性活躍の推進	69.2	44.9	24.3
保健・医療・介護の充実	88.2	43.4	44.8
地域共生社会の実現	72.9	47.4	25.5
教育の充実	78.3	48.5	29.8
スポーツ・文化芸術の振興	61.4	48.9	12.6
人権の尊重と相互理解の促進	70.7	47.0	23.7
自然、文化・歴史の保全と活用	69.0	51.0	17.9
生活基盤の確保	80.7	43.9	36.8
生活環境の保全	75.7	47.0	28.8
防災対策の推進	80.8	48.6	32.2
安全な日常生活の確保	79.8	53.3	26.4

問2-2 問2-1で掲げた「21項目の政策」のうち、あなたが、今後、もっと力を入れるべきと思う政策を3つ選んでください。

「特にない」、「わからない」場合は、「㊶特にない」または「㊶わからない」を○で囲んでください。

保健・医療・介護の充実		38.5%
結婚・出産・子育てへの支援		33.3%
人材の確保・育成		21.9%
生活基盤の確保		21.4%
教育の充実		15.9%
力強い地域産業づくり		14.2%
防災対策の推進		13.9%
地域振興を支えるインフラの整備		13.3%
安全な日常生活の確保		11.9%
魅力ある農林水産業づくり		11.4%
新しい人の流れづくり		9.5%
地域の経済的自立の促進		8.7%
中山間地域・離島の暮らしの確保		8.3%
女性活躍の推進		6.0%
生活環境の保全		5.0%
地域の強みを活かした圏域の発展		4.9%
島根を愛する人づくり		4.7%
地域共生社会の実現		4.2%
自然、文化・歴史の保全と活用		3.8%
人権の尊重と相互理解の促進		3.6%
スポーツ・文化芸術の振興		2.4%
特にない		3.2%
わからない		9.9%

問3 あなたは、住民の暮らしの利便性を高めるためには、どのような分野でのデジタル技術の導入や活用が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

遠隔医療や介護ロボットなどの活用による医療・介護の負担軽減やサービスの向上	52.4%
災害時におけるデジタル技術を活用した災害情報の収集や提供の迅速化	34.8%
交通における自動運転サービスなどの活用による乗務員不足などの課題の解決	32.6%
マイナンバーカードなどを用いた行政手続のオンライン化による県民の利便性向上	27.6%
農林水産業におけるロボットやAIなどの活用による効率化や生産性の向上	25.2%
地域産業におけるデータ活用による新商品の開発や生産性の向上	21.5%
日常生活において、キャッシュレスなどのデジタル技術を使いこなせるようになるための研修の実施	21.0%
遠隔教育や児童生徒一人に一台の端末配備など、ICTを活用した学習環境の充実	20.9%
中山間地域や離島におけるドローンなどの活用による物流の課題の解決	20.7%
誰もがデジタル技術の恩恵を受けられるための研修などを提供する講師の育成	12.9%

問4 島根県では、令和12（2030）年に第84回国民スポーツ大会（旧 国民体育大会）・第29回全国障害者スポーツ大会（愛称「島根かみあり国(こく)スポ・全(ぜん)スポ」）が開催される予定です。

あなたは、島根かみあり国スポ・全スポ開催にあたり、どのようにお考えですか。

（〇はいくつでも）

開催することを知らなかった	42.8%
会場で観戦や応援をしたい	27.8%
地域の美化活動や挨拶運動、競技会場地でのおもてなしなどを通して、県外の方を歓迎したい	17.0%
競技体験会があれば積極的に参加したい、子どもを参加させたい	7.2%
ボランティアとして大会運営（会場案内や手話通訳など）に携わりたい	5.4%
情報があればSNSなどで積極的に拡散したい	5.3%
選手として参加を目指している、目指したい	0.4%
興味がない	26.6%
その他	7.7%

問5 あなたが、健康的な生活をおくるためには、どのような取組や環境があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

ウォーキングしやすい歩道やウォーキングコースがあること		42.7%
実践しやすい健康づくりの具体的な情報が得られること		36.5%
健康に関して気軽に相談できる機会があること		36.3%
身近な場所で健康に関するイベントがあること		30.7%
一緒に取り組める仲間がいること		28.9%
栄養に配慮された弁当・総菜や、飲食店でのメニュー提供があること		27.9%
健康づくりに取り組むと買い物で使えるポイントや賞品がもらえること		26.7%
健康診断の場での保健指導が受けられること		20.0%
職場での呼びかけや職場単位での健康づくりの取組があること		13.3%
島根県民の健康実態が分かること		10.9%
その他		5.1%
わからない		3.8%

問6 あなたが、次の公共土木施設（インフラ）の中で、今後島根県で優先的に取り組む必要があると思うものは何ですか。(〇は7つまで)

山陰道の全線開通		58.5%
生活に密着した道路の整備		50.5%
公共土木施設の維持管理（道路や河川の補修、除草、除雪など）		49.8%
道路通行の安全対策（交差点、自転車通行区間、歩道など）		46.9%
落石や斜面崩壊に対する道路防災対策		46.1%
公共土木施設（橋梁、トンネルなど）の老朽化対策		35.3%
県内の各地域を連絡する幹線道路の整備		35.2%
地震に対する対策（橋梁、港湾の岸壁などの耐震化、無電柱化）		33.6%
公園施設（遊具など）の充実		23.4%
下水道の整備		20.1%
砂防ダム、急傾斜地崩壊対策などの土砂災害対策施設等の整備		16.7%
高速道路の4車線化		16.1%
空港施設（ターミナル、駐車場など）の充実		12.8%
堤防や水門、ダムなどの河川施設の整備		11.4%
高規格道路の新規整備		11.1%
港湾施設（岸壁、防波堤、臨港道路など）の整備		4.1%
その他		5.7%

問7 小学生や中学生が学校の授業以外で学習を行う場所として、①から⑨までの場所について、あなたの考えに当てはまる番号をそれぞれ一つずつ選び、○をつけてください。




区分	とても ふさわしい	やや ふさわしい	どちらとも いえない	あまり ふさわしく ない	全く ふさわしく ない
①自宅	39.1%	30.9%	23.5%	4.9%	1.6%
②放課後の学校の教室（学校図書館を含む）	30.2%	43.9%	19.8%	4.5%	1.5%
③放課後児童クラブ（小学生のみ）	29.5%	42.2%	23.4%	3.7%	1.3%
④放課後子ども教室（小学生のみ）	27.6%	42.2%	25.5%	3.2%	1.3%
⑤図書館（学校図書館を除く）	25.3%	40.9%	26.8%	5.6%	1.4%
⑥公民館等の公共施設	15.7%	37.2%	35.2%	10.1%	1.9%
⑦民間のフリースペース	8.9%	23.7%	49.4%	14.2%	3.7%
⑧塾	25.4%	31.4%	36.5%	4.5%	2.2%
⑨その他	6.4%	12.2%	71.9%	3.7%	5.8%

問8 あなたは、島根県には都会と比較して、どのような魅力や良さがあると思いますか。
(○はいくつでも)

豊かな自然環境の中で、心身ともに伸び伸びと生活できること	71.0%
人混みや満員電車で疲れることなく生活できること	68.8%
犯罪や交通事故が少なく、安全安心な生活ができること	53.7%
人の顔が見え人と人が直接ふれあう、人間らしい暮らしがあること	44.6%
深い継続的な人の繋がりを大切にし、地域の助け合いや絆があること	38.4%
豊かな農林水産品や地域の食文化があること	37.4%
地域の歴史や伝統文化を感じながら生活できること	32.9%
安心して結婚・出産・子育てができること	17.7%
食料費や家賃、光熱水費などの必需品が安いこと	14.7%
一人一人の魅力や個性を伸ばし、情操豊かな子ども・若者が育つ環境があること	11.4%
誰もが誰かに必要とされ、誰にも居場所や出番があること	11.0%
未来への希望を抱き、一生懸命チャレンジする人を応援する温かさがあること	6.1%
その他	2.4%





問9-1 県では、島根創生計画の「笑顔あふれる しまね暮らし宣言」で掲げる「島根らしさ」や「島根の良さ」を、新たに『誰もが、誰かの、たからもの。』のキーフレーズから始まる文章で表現し、県内・県外に向けて発信しています。

あなたは、『誰もが、誰かの、たからもの。』というキーフレーズについて、どのくらいご存じですか。（〇は1つ）

知っている		7.3%
県のホームページや広報媒体などで見たことはある		15.0%
知らない		77.7%

問9-2 問9-1で「1. 知っている」「2. 県のホームページや広報媒体などで見たことはある」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

あなたは、キーフレーズにどのような感想をお持ちですか。（〇は1つ）

内容に共感し、自分も県内・県外の人に「島根らしさ」や「島根の良さ」を伝えたいと思う		53.3%
内容に共感はあるが、県内・県外の人に「島根らしさ」や「島根の良さ」を伝えたいとまでは思わない		36.8%
内容に共感しない		5.7%
その他		4.2%

(2) 社会移動に関すること

問10-1 あなたは、県外へ転出、または島根県に転入したことがありますか。(〇は1つ)

生まれてからずっと島根県に住んでいる		40.3%
島根県以外で生まれ、島根県に転入した		14.2%
島根県で生まれ、県外へ転出したが戻ってきた		45.5%

問10-2 問10-1で「1. 生まれてからずっと島根県に住んでいる」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、島根県にずっと住んでいる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

県外(都会)で暮らしたくなかったから		30.7%
長男・長女だから		27.4%
島根県(出身市町村)が好きだから		26.9%
父母などの島根県に居てほしいという希望があったから		26.8%
島根県で暮らしたかったから		23.1%
県外に出たかったが叶わなかったから		17.6%
島根県にやりたい仕事があったから		9.2%
島根県でやりたいこと(仕事以外)があったから		2.3%
その他		10.2%

問10-3 問10-1で「2. 島根県以外で生まれ、島根県に転入した」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、島根県に転入した主な理由は何ですか。(〇は1つ)

結婚		31.2%
家族の転勤・転職・起業		24.6%
転職・起業		10.1%
転勤		9.8%
新卒時(または最初)の就職		4.8%
大学・短大・専門学校などへの進学		3.6%
家族・親族の介護・看護		3.0%
退職		2.6%
子育て		0.9%
高校への進学		0.1%
その他		9.4%

問10-4 問10-1で「3. 島根県で生まれ、県外へ転出したが戻ってきた」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、県外へ転出した理由、島根県に戻ってきた主な理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

県外へ転出した理由

大学・短大・専門学校などへの進学		46.8%
新卒時（または最初）の就職		34.3%
転勤		8.7%
転職・起業		8.2%
家族の転勤・転職・起業		6.7%
結婚		5.3%
退職		2.0%
高校への進学		1.5%
家族・親族の介護・看護		1.1%
子育て		0.4%
その他		3.4%

島根県に戻ってきた理由

新卒時（または最初）の就職		23.9%
父母などの島根県に居てほしいという希望があったから		23.3%
退職		14.1%
転職・起業		12.1%
家族・親族の介護・看護		9.9%
結婚		9.5%
転勤		8.5%
家族の転勤・転職・起業		6.1%
子育て		3.4%
大学・短大・専門学校などへの進学		0.2%
高校への進学		0.0%
その他		11.2%

問11 あなたは、大学・短大・専門学校などへ進学したとき、どのようなことを重視しましたか。(〇はいくつでも)

※大学・短大・専門学校などに進学したことがない場合は11を〇で囲んでください。

学部や学科が自分の志望にあっていること		32.4%
将来就きたい職業に有利な学部や学科であること		26.0%
入試のレベルが自分の学力にあっていること		21.6%
県外で生活できること		12.0%
親や自身の経済状況		11.8%
ひとり暮らしができること		9.2%
自宅(実家)から通学ができること		7.5%
学校の知名度が高いこと		4.9%
家族や友人が近くにいること		4.3%
その他		2.0%
大学・短大・専門学校などに進学したことがない		44.6%

問12 あなたは、仕事を決めるときに、どのようなことを重視しますか、またはしましたか。(〇はいくつでも)

自分がやりたい仕事であること		48.2%
自分の能力・専門性を活かせること		40.2%
安定していること		40.1%
仕事と生活(家庭)の両立ができること		34.8%
勤務地が県内であること		29.8%
給料が高いこと		29.6%
企業に将来性があること		18.2%
転勤がないこと		18.2%
規模の大きな企業であること		9.6%
知名度が高いこと		5.8%
在宅勤務や時差出勤など柔軟な働き方ができること		5.2%
家業を継ぐこと		3.6%
勤務地が県外であること		2.3%
海外で活躍できそうなこと		1.2%
その他		4.3%

問13-1 あなたは、現在お住いの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

住み続けたい	70.1%
島根県内の別の場所へ移り住みたい	4.9%
島根県外へ移り住みたい	6.2%
島根県内・県外どちらでもかまわないので移り住みたい	5.5%
わからない	13.3%

年齢層別

区分	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
住み続けたい	49.9%	56.3%	65.3%	59.6%	74.3%	86.7%
島根県内の別の場所へ移り住みたい	9.1%	6.6%	5.4%	4.8%	5.4%	2.5%
島根県外へ移り住みたい	15.6%	8.1%	6.2%	8.8%	4.8%	2.0%
島根県内・県外どちらでもかまわないので移り住みたい	9.5%	10.6%	7.6%	5.1%	2.9%	2.8%
わからない	16.0%	18.5%	15.5%	21.7%	12.6%	6.1%

問13-2 問13-1で「1. 住み続けたい」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、お住いの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(〇は4つまで)

家族や親族が近くにいるから	70.7%
住み慣れていて愛着があるから	54.5%
車があれば、荷物の多さや時刻表などを気にすることなく、自由に移動できるから	34.7%
友人や知人が同じ地域に住んでいるから	33.6%
治安が良く、安心して暮らせるから	29.1%
地域の人とのつながりに、温かさを感じるから	24.9%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っているから	19.3%
人混みや満員電車で疲れることなく生活できるから	18.9%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれているから	15.5%
余暇を利用して、自分のやりたいことを満喫できるから	12.6%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っているから	3.8%
魅力的な求人がある、または現在の仕事内容や賃金に満足しているから	3.7%
子どもの教育環境が整っているから	1.9%
事業や商売を行うのに適しているから	1.1%
その他	3.7%

年齢層別（18～29歳）

家族や親族が近くにいるから		78.4%
住み慣れていて愛着があるから		48.3%
車があれば、荷物の多さや時刻表などを気にすることなく、自由に移動できるから		35.5%
友人や知人が同じ地域に住んでいるから		43.3%
治安が良く、安心して暮らせるから		23.0%
地域の人とのつながりに、温かさを感じるから		20.1%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っているから		10.8%
人混みや満員電車で疲れることなく生活できるから		22.7%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれているから		6.7%
余暇を利用して、自分のやりたいことを満喫できるから		8.2%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っているから		5.1%
魅力的な求人がある、または現在の仕事内容や賃金に満足しているから		9.0%
子どもの教育環境が整っているから		0.7%
事業や商売を行うのに適しているから		0.6%
その他		0.0%

問13-3 問13-1で「2. 島根県内の別の場所へ移り住みたい」「3. 島根県外へ移り住みたい」「4. 島根県内・県外どちらでもかまわないので移り住みたい」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

あなたが、お住いの地域から移り住みたいと思う理由は何ですか。(〇は4つまで)

公共交通機関が不便で、車がないと自由に移動できないから		47.8%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っていないから		26.4%
自分の希望や好みにあった住宅に住みたいから		25.6%
魅力的な求人がない、または現在の仕事内容や賃金に満足していないから		24.2%
地域の人とのつながりを、わずらわしいと感じるから		22.4%
都会で暮らしたいから		18.4%
出身地など、馴染みのある土地で暮らしたいから		15.3%
友人や知人が住んでいる地域で暮らしたいから		12.3%
島根県、または居住している地域に愛着を感じていないから		10.7%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っていないから		5.7%
家族や親族とのつきあいがうまくいっていないから		5.7%
家族や親族の介護・看護をするから		4.2%
子どもの教育環境が整っていないから		4.0%
事業や商売を行うのに適していないから		3.4%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれていないから		3.2%
治安が悪く、安心して暮らせないから		0.1%
その他		15.9%

年齢層別（18～29歳）

公共交通機関が不便で、車がないと自由に移動できないから		37.4%
日常生活を営むための機能（道路や上下水道などのインフラ、買い物、医療など）が整っていないから		20.7%
自分の希望や好みにあった住宅に住みたいから		40.7%
魅力的な求人がない、または現在の仕事内容や賃金に満足していないから		31.9%
地域の人とのつながりを、わずらわしいと感じるから		8.5%
都会で暮らしたいから		33.1%
出身地など、馴染みのある土地で暮らしたいから		13.4%
友人や知人が住んでいる地域で暮らしたいから		16.5%
島根県、または居住している地域に愛着を感じていないから		5.8%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）が整っていないから		0.0%
家族や親族とのつきあいがうまくいっていないから		3.6%
家族や親族の介護・看護をするから		5.4%
子どもの教育環境が整っていないから		1.3%
事業や商売を行うのに適していないから		2.4%
自然環境や気候、農林水産品や地域の食文化に恵まれていないから		0.0%
治安が悪く、安心して暮らせないから		0.0%
その他		12.9%

問14 あなたは、県外から島根に戻ってくる、または移住する若者を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は4つまで)

県内企業の規模拡大や生産性向上などへの支援による雇用の拡大や賃上げの実現		39.8%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）の整備		36.3%
医療・介護や福祉の充実		33.0%
県外企業の支社・支店や工場の誘致による雇用の拡大		32.5%
県外大学に進学した学生への継続的な情報提供や就職支援		26.5%
若者が集まるような娯楽施設の充実		25.2%
「島根らしさ」や「島根の良さ」、都会と比べた島根で暮らすメリットの情報発信		24.6%
島根や地域（ふるさと）に愛着を持ち、島根の未来を考える子どもを増やす		22.0%
快適な住環境の整備		22.0%
鉄道やバスなどの地域交通の確保		21.4%
移住に関する相談会や相談窓口、支援制度の充実		20.4%
女性活躍の推進や誰もが働きやすい職場環境の整備		16.3%
起業などの新たなチャレンジへの支援		14.7%
道路や上下水道などのインフラ整備		12.6%
航空路線の充実		7.5%
あらゆる分野でのデジタル化の推進		4.8%
その他		3.0%

年齢層別（18～29歳）

県内企業の規模拡大や生産性向上などへの支援による雇用の拡大や賃上げの実現	42.2%
子育て環境（保育環境や経済的負担の軽減制度など）の整備	31.0%
医療・介護や福祉の充実	27.7%
県外企業の支社・支店や工場の誘致による雇用の拡大	28.2%
県外大学に進学した学生への継続的な情報提供や就職支援	25.2%
若者が集まるような娯楽施設の充実	41.6%
「島根らしさ」や「島根の良さ」、都会と比べた島根で暮らすメリットの情報発信	20.1%
島根や地域（ふるさと）に愛着を持ち、島根の未来を考える子どもを増やす	14.8%
快適な住環境の整備	23.7%
鉄道やバスなどの地域交通の確保	23.1%
移住に関する相談会や相談窓口、支援制度の充実	16.4%
女性活躍の推進や誰もが働きやすい職場環境の整備	9.6%
起業などの新たなチャレンジへの支援	13.2%
道路や上下水道などのインフラ整備	14.6%
航空路線の充実	11.7%
あらゆる分野でのデジタル化の推進	8.4%
その他	1.7%

(3) 結婚・出産・子育てに関すること

問15 あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。（○は1つ）



必ずした方が良い	15.0%
できればした方が良い	56.1%
無理にしなくても良い	27.4%
しなくて良い	1.5%

年齢層別










区分	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
必ずした方が良い	8.2%	8.5%	6.8%	15.6%	15.8%	23.0%
できればした方が良い	46.4%	34.6%	50.6%	55.2%	66.8%	65.0%
無理にしなくても良い	44.0%	53.3%	40.4%	28.0%	16.3%	11.2%
しなくて良い	1.4%	3.6%	2.1%	1.2%	1.0%	0.8%

問16 あなたは、結婚することには何か良い点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。

「1. 良い点があると思う」に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な内容を3つまで選び、その番号に○をつけてください。



良い点があると思う		95.6%
良い点はないと思う		4.4%

良い点の具体的な内容










自分の子どもや家庭を持てる		70.2%
精神的な安らぎが得られる		53.7%
愛情を感じている人と暮らせる		46.7%
親を安心させたり周囲の期待にこたえられる		24.2%
経済的に余裕が持てる		22.6%
社会的信用を得られる		21.8%
親から独立できる		4.4%
生活上便利になる		4.2%
その他		2.3%

問17 あなたは、独身でいることには結婚することにはない良い点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。

「1. 良い点があると思う」に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な内容を3つまで選び、その番号に○をつけてください。

良い点があると思う		81.6%
良い点はないと思う		18.4%

良い点の具体的な内容

行動や生き方が自由		83.2%
仕事や趣味など自分の好きなことに打ち込みやすい		63.9%
自由に使えるお金が多い		45.6%
家族を養う責任がなく、気楽		23.5%
住宅や環境の選択の幅が広い		14.7%
友人などとの広い人間関係が保ちやすい		12.2%
異性との交際が自由		7.2%
現在の家族とのつながりが保てる		6.5%
その他		1.1%

問18 独身の方にお聞きします。あなたに、結婚したいと思う相手がいる（あるいは今後出会った）場合、何か結婚をためらわせることがあると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。

「1. ことがあると思う」に○をつけた方は、右側のワクの中から具体的な内容を3つまで選び、その番号に○をつけてください。

ためらわせることがあると思う		72.3%
ためらわせることはないと思う		27.7%

年齢層別

区分	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
ためらわせることがあると思う	69.1%	75.9%	72.6%	80.9%	77.8%	62.9%
ためらわせることはないと思う	30.9%	24.1%	27.4%	19.1%	22.2%	37.1%

ためらわせることの具体的な内容

結婚後の生活資金のこと	56.6%
子どもの養育費のこと	28.5%
結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）のこと	27.9%
職業や仕事のこと	23.9%
親との同居や扶養のこと	22.9%
年齢のこと	22.6%
結婚生活のための住居のこと	22.6%
健康のこと	19.6%
親の承諾のこと	6.2%
学校や学業のこと	4.5%
その他	5.9%

年齢層別（18～29歳）

結婚後の生活資金のこと		67.0%
子どもの養育費のこと		45.8%
結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）のこと		37.9%
職業や仕事のこと		29.3%
親との同居や扶養のこと		15.9%
年齢のこと		4.2%
結婚生活のための住居のこと		32.0%
健康のこと		8.5%
親の承諾のこと		6.3%
学校や学業のこと		3.8%
その他		7.0%

問19 あなたが考える理想的な子どもの数は何人ですか。（○は1つ）

子どもはいらない		5.3%
1人		3.4%
2人		39.7%
3人		47.7%
4人		3.0%
5人以上		0.9%

問20 問19で選んだ理想的な子どもの数より、実際のお子さんの数が少ない方にお聞きします。

あなたは、その理由は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

子育てや教育にお金がかかりすぎる(かかりすぎた)から		39.8%
仕事との両立が難しくなる(難しかった)から		28.3%
パートナーがいないから		21.7%
ほしいけれどもできない(できなかった)から		21.0%
育児の心理的、肉体的負担に耐えられない(なかった)から		11.5%
健康上の理由から		10.9%
高年齢での出産、子育てをしたくない(したくなかった)から		8.7%
保育施設や医療制度などの子育て環境が整っていない(整っていなかった)から		8.5%
パートナーの家事や育児への協力が得られない(得られなかった)から		6.1%
自分自身やパートナーとの生活を大切にしたい(大切にされた)から		5.8%
パートナーが望まない(望まなかった)から		5.7%
家がせまい(せまかった)から		5.2%
末子が自分やパートナーの定年退職までに成人してほしい(ほしかった)から		2.6%
その他		5.4%

年齢層別 (18～29歳)

子育てや教育にお金がかかりすぎる(かかりすぎた)から		31.4%
仕事との両立が難しくなる(難しかった)から		29.7%
パートナーがいないから		66.7%
ほしいけれどもできない(できなかった)から		10.0%
育児の心理的、肉体的負担に耐えられない(なかった)から		10.8%
健康上の理由から		0.3%
高年齢での出産、子育てをしたくない(したくなかった)から		0.7%
保育施設や医療制度などの子育て環境が整っていない(整っていなかった)から		9.1%
パートナーの家事や育児への協力が得られない(得られなかった)から		1.6%
自分自身やパートナーとの生活を大切にしたい(大切にされた)から		11.9%
パートナーが望まない(望まなかった)から		0.3%
家がせまい(せまかった)から		7.6%
末子が自分やパートナーの定年退職までに成人してほしい(ほしかった)から		0.5%
その他		3.8%

問21 今よりも1人以上多くお子さんを持ちたいと希望される方にお聞きします。

あなたが、希望されるお子さんの数を持ってないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いと思いますか。(〇はいくつでも)

収入が不安定なこと		37.6%
自分やパートナーの仕事(勤めや家業)の事情		28.5%
年齢や健康上の理由で子どもができないこと		27.2%
パートナーがいないこと		21.7%
家事・育児の協力者がいないこと		20.8%
今いる子どもに手がかかること		12.8%
保育所など子どもの預け先がないこと		11.2%
その他		4.5%
希望する子どもの数を持ってない可能性は低い		2.7%

問22 あなたは、島根県は子育てしやすい県だと思いますか。(〇は1つ)

そう思う		16.9%
どちらかといえばそう思う		62.5%
どちらかといえばそう思わない		15.1%
そう思わない		5.6%

(4) 幸福度に関すること

問23-1 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。(〇は1つ)

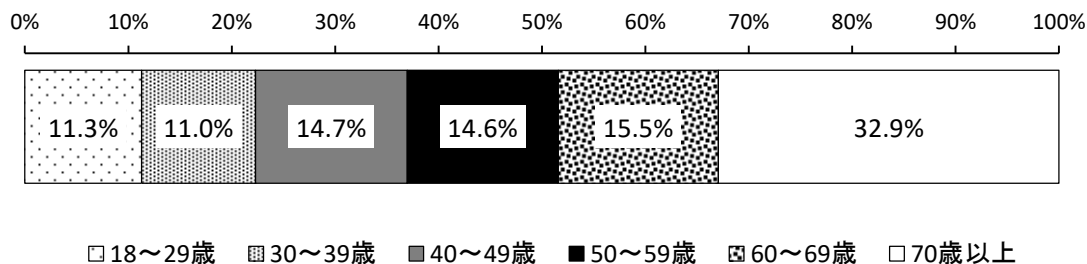
幸福だと感じている		28.6%
やや幸福だと感じている		42.0%
どちらともいえない		20.8%
あまり幸福だと感じていない		5.6%
幸福だと感じていない		3.0%

問23-2 あなたが、問23-1の回答を選択する際に重視したものは何ですか。
(〇はいくつでも)

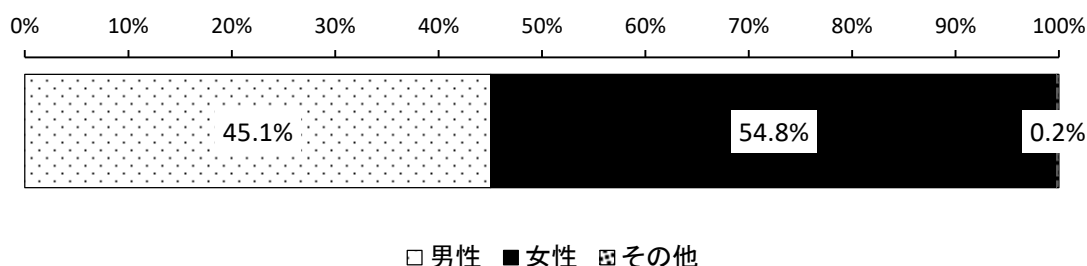
家族関係		63.0%
健康状況		55.1%
居住環境		47.3%
精神的なゆとり		36.3%
家計の状況・所得		36.2%
自由な時間・充実した余暇		34.1%
友人関係		30.4%
自然環境		23.3%
就業状況(仕事の有無、安定)		20.3%
職場(学校)の人間関係		19.2%
仕事(学校)のやりがい・充実度		18.5%
地域コミュニティとの関係		14.7%
治安・防災体制		12.7%
教育環境		3.7%
その他		1.7%

(5) 回答者の属性

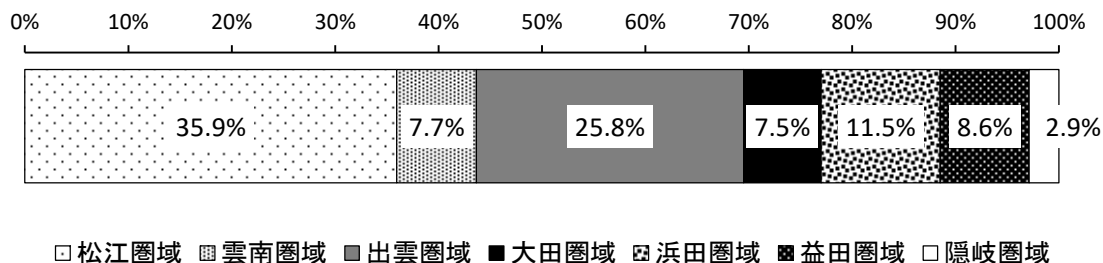
問24 あなたの年齢（満年齢）をお答えください。（〇は1つ）



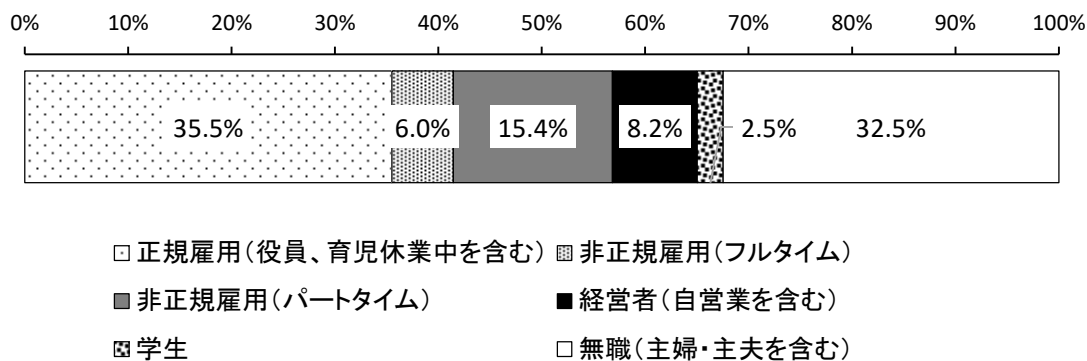
問25 あなたの性別をお答えください。（〇は1つ）



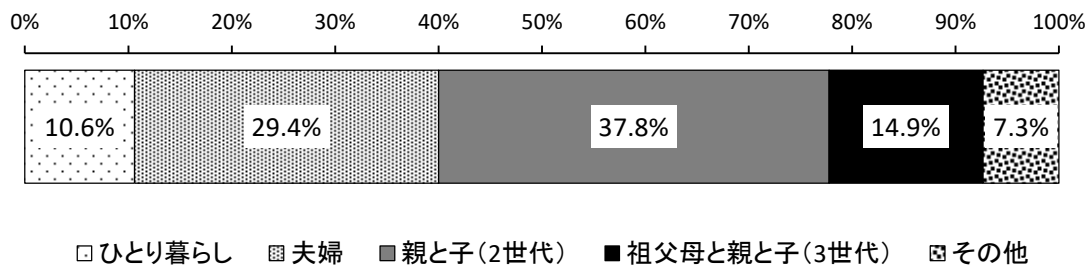
問26 あなたがお住いの市町村をお答えください。（〇は1つ）



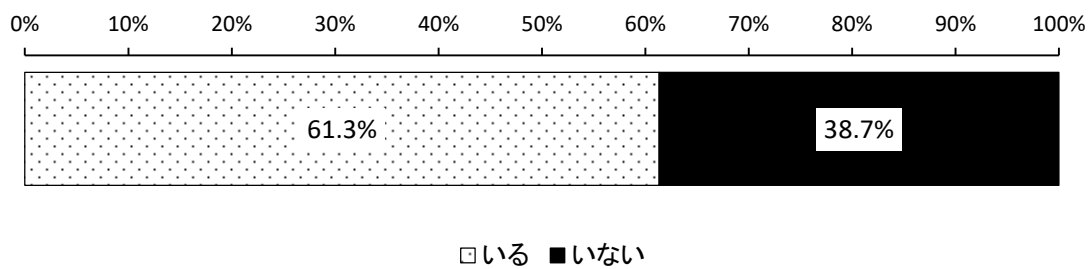
問27 あなたの雇用形態をお答えください。（〇は1つ）



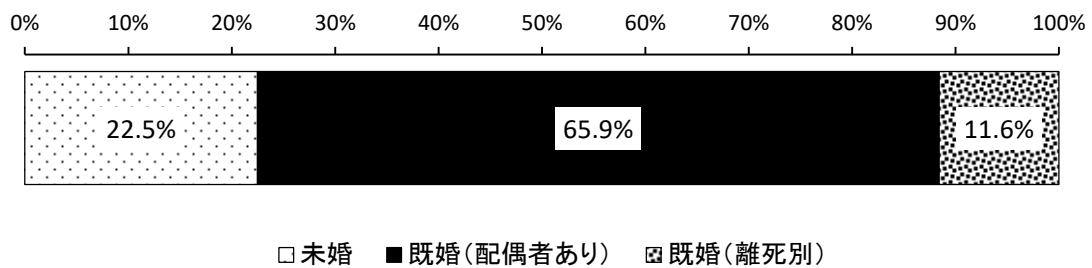
問28 あなたと一緒に住んでいるご家族の形態は、次のどれにあたりますか。(〇は1つ)



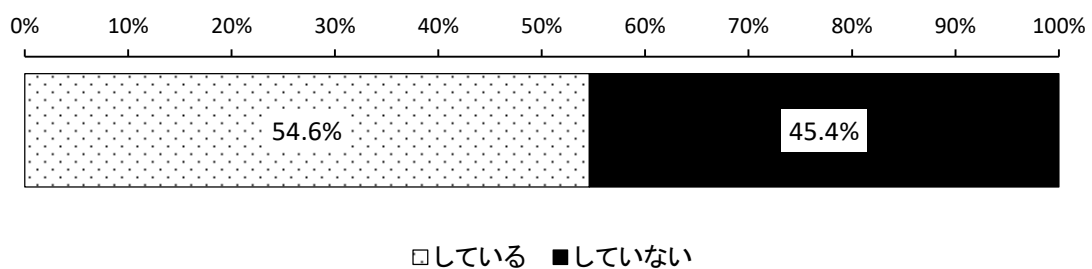
問29 あなたと一緒に住んでいるご家族の中に、満65歳以上の方はいますか。あなたご自身も含めてお答えください。(〇は1つ)



問30 あなたは、結婚していますか。(〇は1つ)



問31 問30で「2. 既婚(配偶者あり)」を選んだ方にお聞きします。あなたは、共働きをしていますか。(〇は1つ)



問3 2 あなたのお子さんは、次の中のどの段階ですか。お子さん全員について、それぞれお答えください。(〇はいくつでも)

